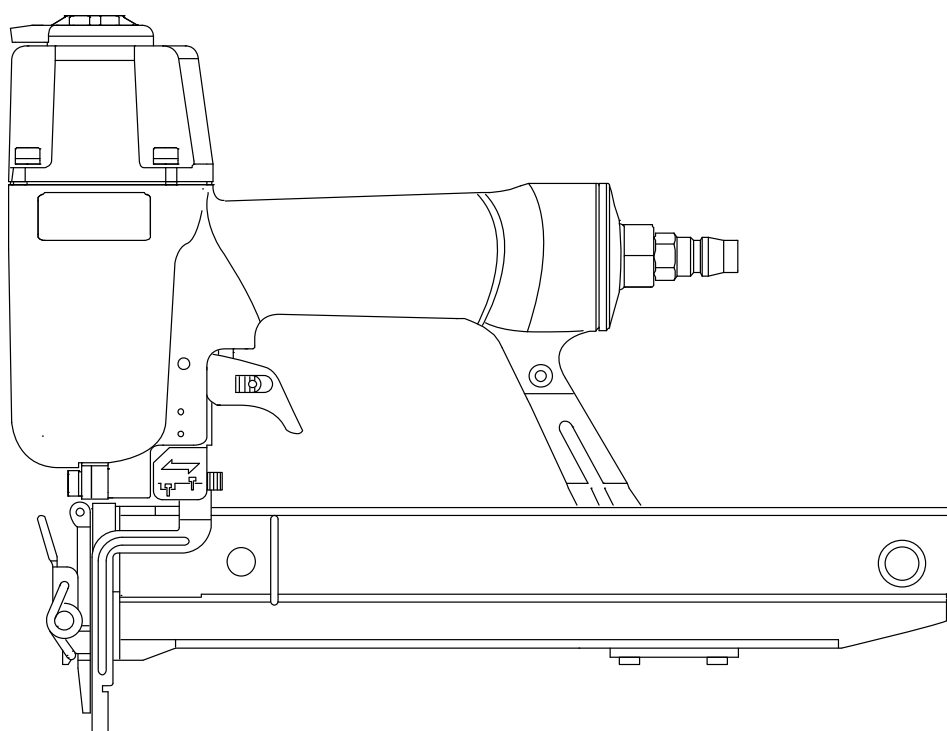


ステープルタッカー 9240LM/732MA 取扱説明書

本機のご使用前に取扱説明書を最後まで良く読み、正しく安全にお使いいただきますようお願い致します。（本機の仕様は機能向上などの為、予告なしに変更する場合があります。）



⚠ 【危険】

本機は射出口に安全装置が付属していますが、安全装置がなにかに触れて押し上げられた場合、トリガを引くとステープルが発射します。ステープルを打つとき以外は、トリガに触れないでください。誤ってステープルが発射すると重大な事故につながる危険があります。

⚠ 【警告】

本機は木材へのステープル打ち作業を目的とした工具です。
他用途に使用しないでください。
コンクリート、鉄鋼などへステープルを打ち込まないでください。
射出口が詰まった状態でステープルを射出すると本機の損傷を招きます。
正常に作動しなくなった場合は自分で修理せず販売店に修理を依頼ください。
絶対に分解また改造をしないでください。

- この取扱説明書での△表示の意味は下記の通りです。

△【危険】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容の注意。
△【警告】	誤った取扱いにより、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。
△【注意】	操作に関する重要な注意。状況によっては重大事故に至る可能性がある内容の注意。

- 安全作業のための注意 △【危険】

1) 保護具

作業者も周囲の人も必ず保護メガネを着用してください。打損じのステープルが跳ねて眼に入る危険があります。排気音や排気から耳を保護するため、耳栓などの防音保護具を着用してください。作業環境に応じてヘルメット、安全靴などの防具を着用してください。

2) エアコンプレッサ

本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。高圧ガス（酸素、アセチレン、プロパンなど）を使うと異常燃焼をおこし爆発事故の恐れがありますのでエアコンプレッサ以外は使用しないでください。本機の使用前後にはエアコンプレッサの空気タンクのドレン抜きを緩めて、内部に溜まった水や油を除去してください。本機の内部に水や油が溜まると錆発生などで故障原因となります。

3) エアホース接続前に

ステープルが装填されていない事を確認してください。ねじ類の緩みが無い事、損傷／脱落／異常動作の部品が無い事を確認してください。射出口が人や物に当たっていない事、人に向いていない事を確認してください。

4) エアホース接続後に

空気漏れ・異常音・作動音などが無い事を確認してください。エアホースを接続しただけで作動したり、エア漏れや異常音がある場合、そのまま使用すると事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

5) 作業前に

周囲に作業者以外（特に子供など）がいない事を確認してください。作業場所が、明るく、作業に応じて整理されている事を確認してください。無理な姿勢また後退しながらの作業は大変危険です。高所作業の場合、足場の安全が確保されている事を確認してください。本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（シンナー、ガソリンなど）のそばで使用するとステープル打込時の火花による引火や、空気と一緒に吸入圧縮され爆発の危険があります。揮発性可燃物のそばで絶対に使用しないでください。

6) 作業中に

トリガに指をかけたまま本機を持ち運びまた手渡しなどをしないでください。誤ってステープルが射出されると危険です。本機を移動させる時は必ずトリガから指を離し、場合によりエアホースも外してください。エアホースを掴んで本機を移動しないでください。

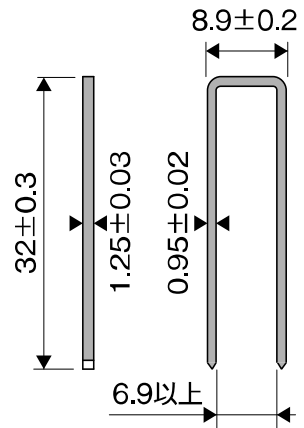
7) ステープルを打つときは

向い合わせでの作業は、打ち損じたステープルが向いの作業者に当り思わぬ事故を招きます。向い合わせでの作業は絶対にしないでください。対象物に配線やガス管など埋設物が無い事を確認してください。射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。落としたりして連結が切れたステープルを使用すると、ステープル送り不良により、空打ち、ステープル詰まりなどが発生する可能性がありますので使用しないでください。

8) ステープル詰まりを直すときは、エアホースを外し、ステープルを全部抜き取ってから作業してください。

9) 作業終了時には、エアホースを外し、マガジン内のステープルを全て抜き取ってください。

● 仕様

型式	9240LM/732MA						
外径寸法・重量	315×240(H)×59mm 1.3Kg						
ステープル装填	160本						
エアー継手	1/4" NPT						
使用エアホース	エアホースの内径はΦ6mm以上です。エアホース長さは30m以内のものを使用してください。エアホースが長いと圧力低下により打込み不十分となります。						
使用空気圧	最大許容圧力	0.75MPa (7.6Kgf/cm ²)					
	推奨使用圧力	0.5 ～ 0.75MPa (5.1～7.65Kgf/cm ²)					
	⚠【警告】	空気圧は対象物により、上記範囲内で調節し使用してください。範囲を超えた圧力で使用すると本機の寿命を縮めたり、損傷によって事故を招く恐れがあります。					
使用オイル (タービン油)	⚠【注意】	給油の前にエアホースを外してください。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2～3滴給油してください。作業前の油は潤滑油となり、作業後の油はさび止めとなります。給油直後にエアを通すと、しばらくの間、油が排気口より噴霧状に飛び散るので油が飛んでも支障のない所で2～3本ステープルを打ってから作業してください。作業後に給油した場合、ステープルを1本打つと油が内部に行き渡ります。排気口から出た油は拭き取ってください。過剰の給油は本機に悪影響を及ぼす場合があります。指定外のオイルを使用すると、能力低下や故障の原因となります。界面活性剤などの添加物を入れないでください。					
騒音レベル	特性音圧レベル LpA	86.31 dB(A)					
	音響パワーレベル LwA	99.31dB(A)					
	計測の不確実性	3dB					
	⚠【注意】	法令や自治体条例の騒音規制値を超えないよう、遮音壁を設けるなど状況に応じた使用をお願いします。					
振動	手腕振動値	2.81m/s ²					
	計測の不確実性	1.5m/s ²					
	⚠【注意】	使用状況により上記と異なる場合があります。実使用での測定に従い安全確保の上、使用してください。					
指定ステープル	<table><tr><td>使用ステープル</td><td>足長L(mm)</td></tr><tr><td>R0732</td><td>32</td></tr></table> 			使用ステープル	足長L(mm)	R0732	32
使用ステープル	足長L(mm)						
R0732	32						
⚠【警告】	指定ステープル以外を使用すると故障や事故の原因となります。必ず指定ステープルを使用して下さい。						

● 部品表

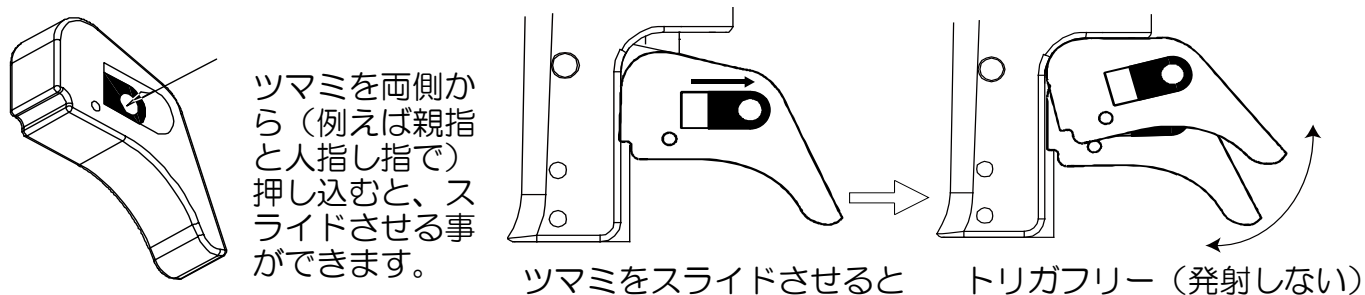
部品番号	部品名称	仕様	数
AA3402	プッシャースプリング		1
CC0801	エンドキャップ		1
CC1901	ブッシング(1)		1
CD1401	ピン(1)		1
CL2201	ブッシング(2)		1
FA4106	ボディ		1
FA4401	エグゾーストキャップ		1
FA4501	キャップシール		1
FA4701	ピストンストップ(1)		1
FA7401	ノズル		1
FB2501	ピストンストップ(2)		1
FB3201	ピン(2)		1
FB3601	ピストンストップ(3)		1
FB4001	シリンダーキャップ		1
FC0601	コンプレッションスプリング(1)		1
FC4301	ヘッドバルブピストン		1
FC4402	シリンダー		1
FC4501	バンパー		1
FC4701	カラー		1
FE1201	エグゾーストキャップリング		1
FK1601	Cリング(1)		1
FK2001	セーフティ(1)		1
FP2402	アジャスタブルプレート(A)		1
FP2501	フィックスドピンアセンブリ		1
FY3601	コンプレッションスプリング(2)		1
KF0510	平頭ボルト	M5×0.8-10L	1
KM0412A	六角穴付ボルト(1)	M4×0.7-12L	4
KM0520	六角穴付ボルト(2)	M5×0.8-20L	7
KQ3020	スプリングピン(1)	φ3×20L	1
KQ3022	スプリングピン(2)	φ3×22L	1
KR0306	ボタンヘッドボルト	M3×0.5-6L	1
KS2514	スプリングピン(3)	φ2.5-14L	1
KS2524	スプリングピン(4)	φ2.5-24L	2
KS3008	スプリングピン(5)	φ3-8L	1
MG3202	セーフティセット		1
MK1401	カバーマガジン		1
MK1501	サポート		1
MK1601	アジャスタブルプレート(B)		1
MK1701	セーフティノーズ		1
MK1801	セーフティクッション		1

部品番号	部品名称	仕様	数
MK1901	トリガー		1
MK2001	アジャストランプ		2
MK2101	コンタクトレバー		1
MK2201	コンプレッションスプリング		1
OA003A	Oリング(1)	ARP568-003	1
OA012A	Oリング(2)	ARP568-012	1
OA028A	Oリング(3)	ARP568-028	1
OA127A	Oリング(4)	ARP568-127	2
OA134A	Oリング(5)	ARP568-134	1
OB031A	Oリング(6)	3×1	1
OB035A	Oリング(7)	2.9×1.2	1
OB036A	Oリング(8)	2.5×1.0	1
OB361A	Oリング(9)	36×3	1
OP010A	Oリング(10)	P10	1
OP012A	Oリング(11)	P12	1
OP028H	Oリング(12)	27.7×3.5	1
OP032A	Oリング(13)	P32	1
PN6201	コンプレッションスプリング(4)		2
SB1801	スプリングシート		1
UC1606W	トリガーアセンブリ		1
UD0901	ラッチスタッドブッシング		1
UD1001	ストップピン		1
UD1101	コンプレッションスプリング(5)		1
UD1103W	トリガーバルブアセンブリ		1
UD3602	トリガーバルブガイド		1
UD3701	トリガーバルブシート		1
UD3803	トリガーバルブステム		1
UD3901	コンプレッションスプリング(6)		1
UE1301	コンプレッションスプリング(7)		1
UE1501	シール		1
UL4501	アジャスティングホイール		1
UQ0310W	ピストンドライバーOリングセット		1
UQ6101	マガジンシート		1
UQ6201	ガイドプレート		1
UQ6301	プッシャー		1
YC1001	Cリング(2)	φ10	1
YE3001	Eリング	φ3.0	1
YG0501	スプリングワッシャー	φ5	4
YL0508	ロックナット(1)	M5×0.8	1
YW0301	フラットワッシャー	φ3	1

- 使用方法 本機とエアコンプレッサを接続する前に、使い方を覚えてください。

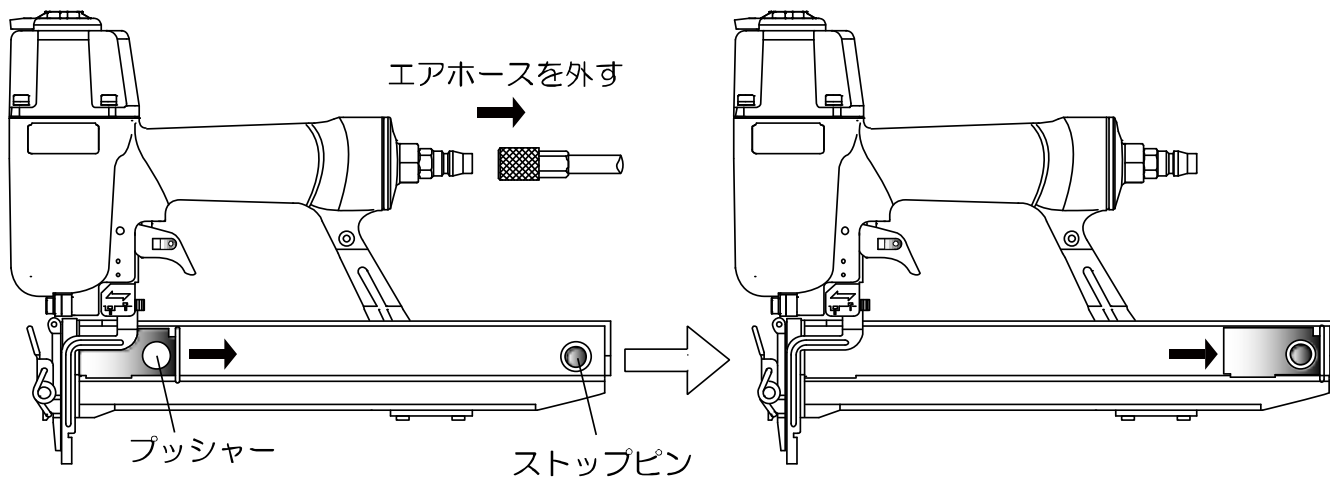
1) トリガフリー機構

トリガ側面のツマミ（赤色樹脂部品）を下図矢印方向にスライドさせると、トリガフリー（トリガを引いても発射しない）になります。作業時以外はこの状態にしておいてください。

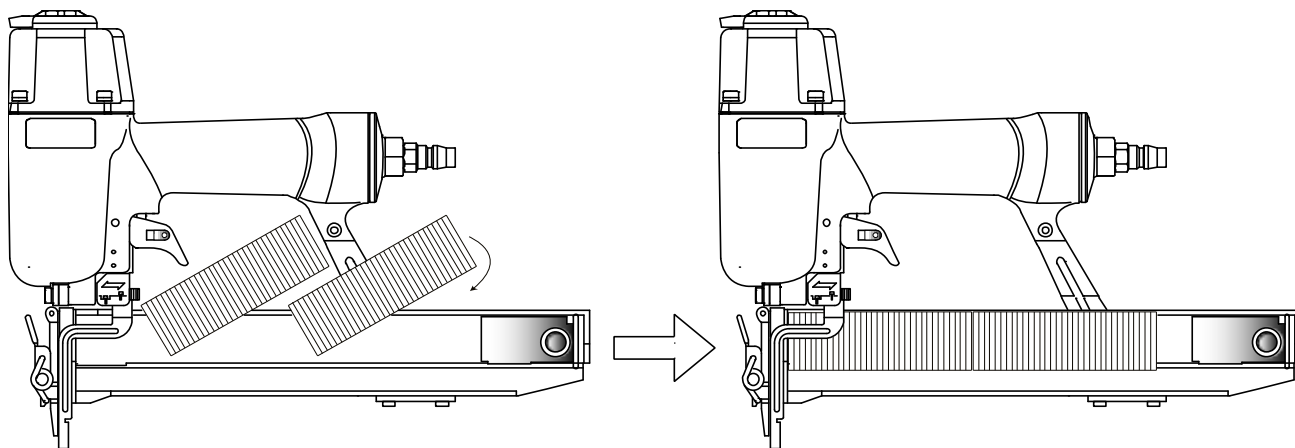


2) ステープルを装填する

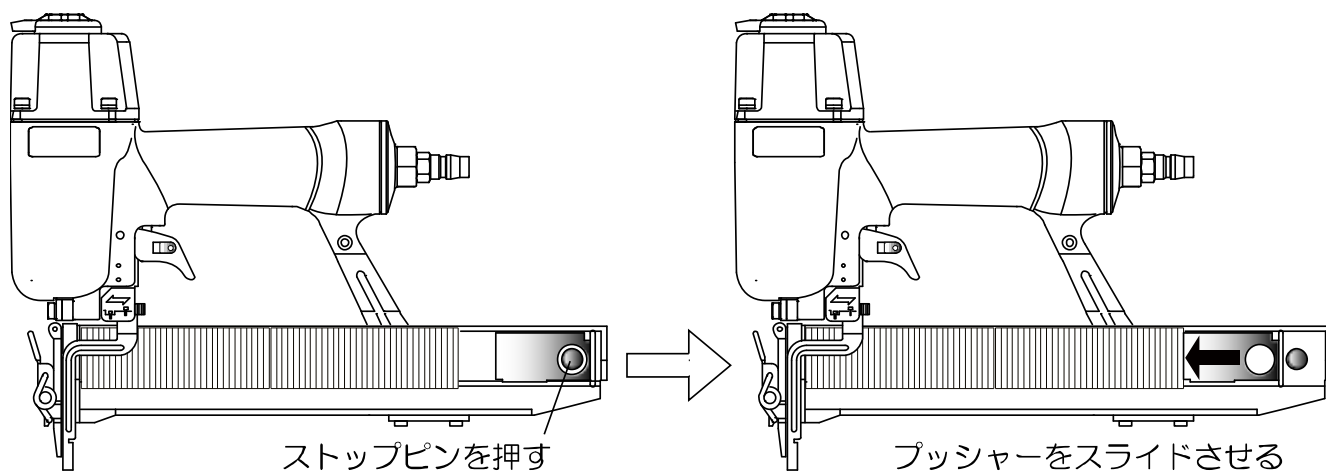
①エアホースを外した後、プッシャーをストップピンにロックされるまでスライドさせる。



②マガジンシートへ、ステープルを針先側から乗せる。（2連×75本を装填できます）



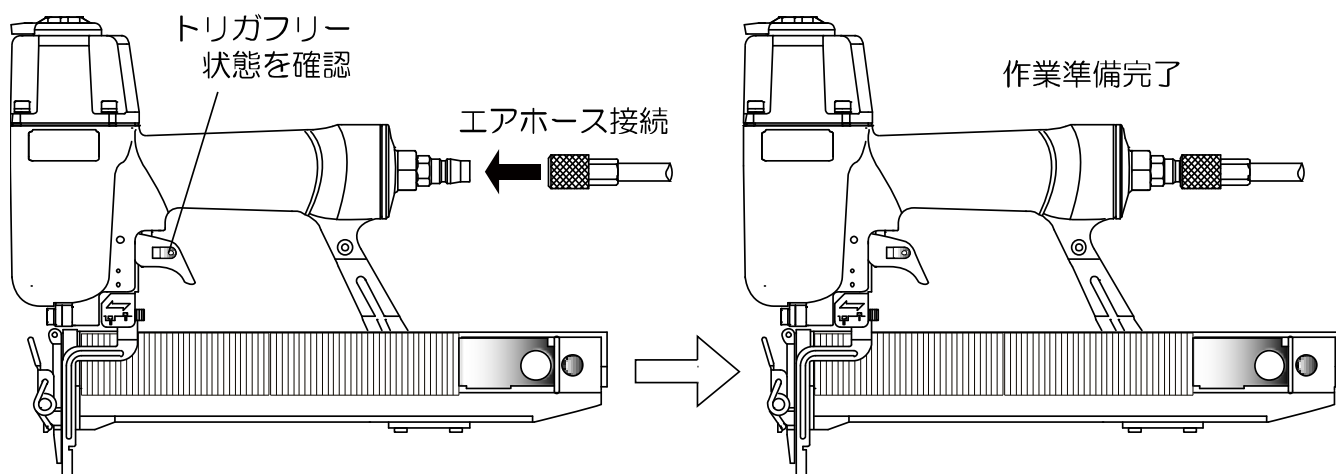
③ストップピンを押すとロックが外れ、プッシャーが戻ります。（ストップピンを押しロックが外れると、バネによりプッシャーが自動で戻ります。戻る力が強いので、必ずプッシャーを保持し、指を挟むなどの事故を防いで下さい。プッシャーがステープルを押し込んでいる事、プッシャーとステープルの間に隙間が無い事を確認してください。）



3) エアホースを接続する。

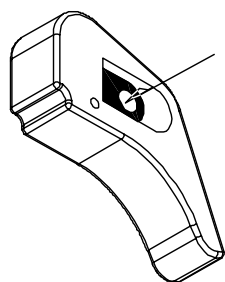
エアホース接続時は、必ずトリガフリーとなっている事を確認してください。

エアホース接続時は、しっかりと本機を保持してください。

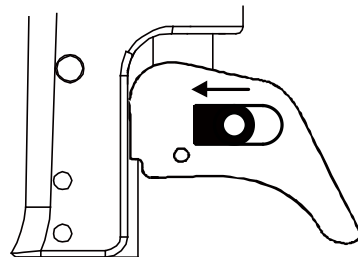
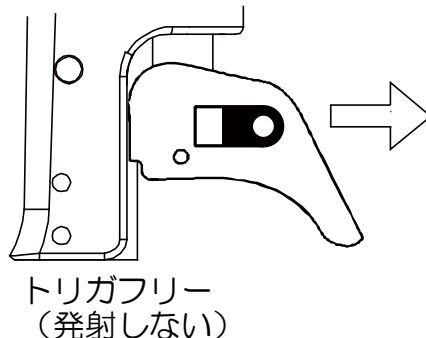


4) 安全装置を解除/確認する。

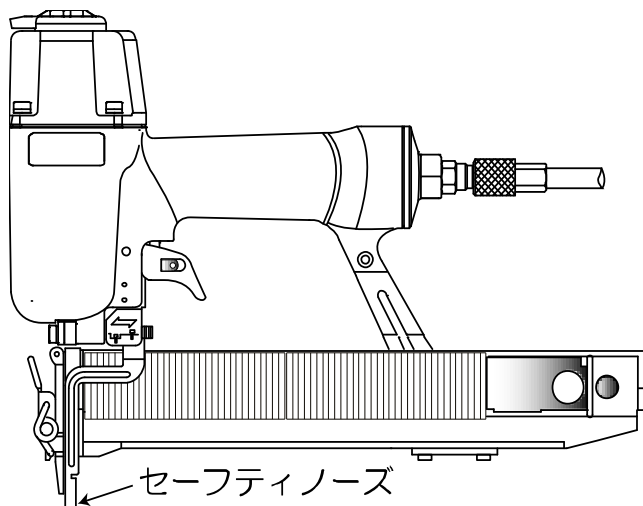
ツマミをスライドさせてトリガフリーを解除します。



ツマミを両側から
(例えば親指と
人差し指で)
押し込むと、
スライドさせる
ことができます。



ツマミをスライドさせるとトリガフリーが解除されます。



セーフティノーズを材料に当てないで、トリガーを引いてみて下さい。このとき本機が作動（ステープルの射出）する場合は、安全装置が異常です。次に、トリガーから指を離し、セーフティノーズを対象物（材料）に押し当ててみて下さい。このとき本機が作動（ステープルの射出）する場合は、安全装置が異常です。

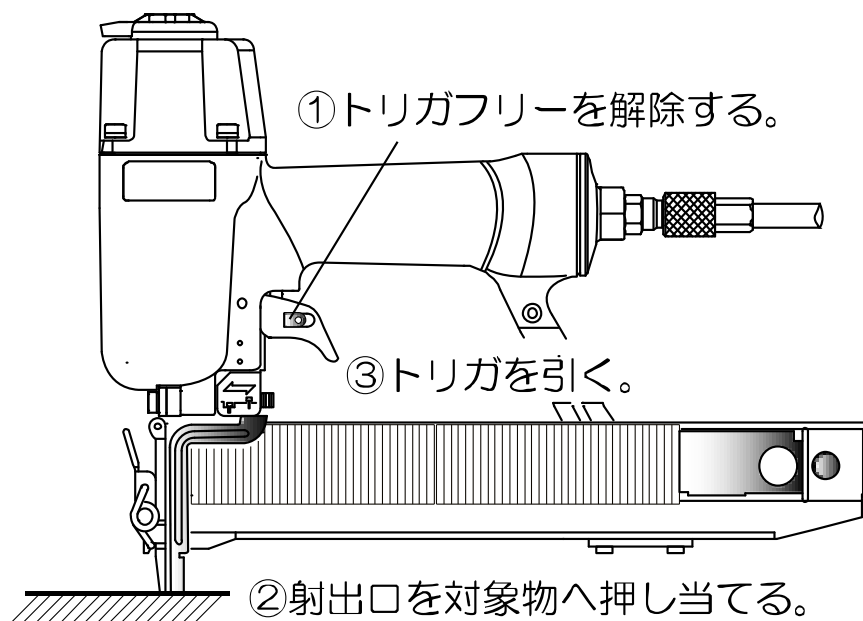
【危険】
誤作動によりステープルが発射し思わぬ事故を招く恐れがあります。射出口が人や危険物に向いていない事などに十分注意して確認してください。

5) ステープルを打つ。

下図①②③の順に操作してください。

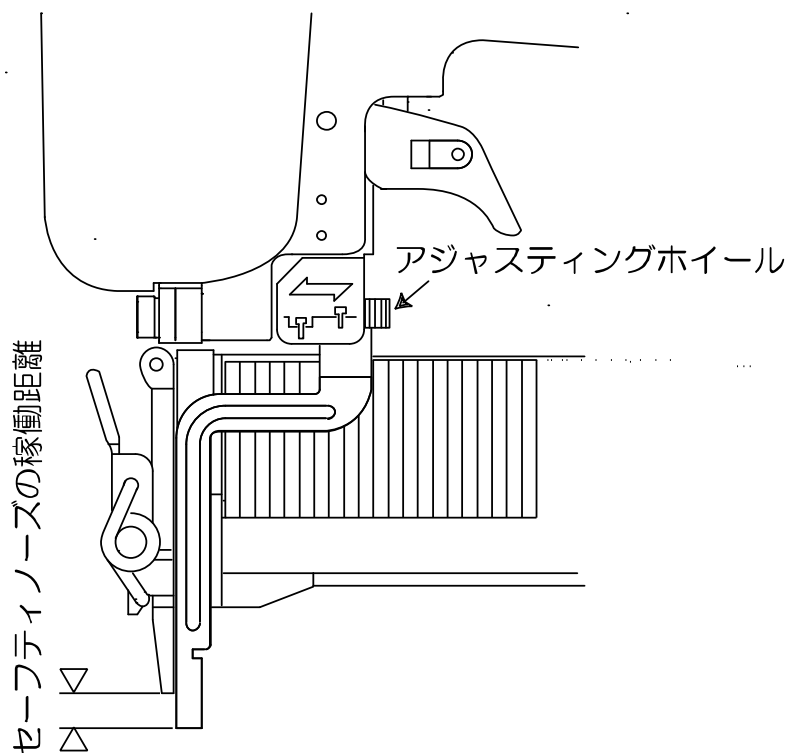
②射出口を対象物へ押し当ててセーフティノーズを押し上げ、③トリガを引くとステープルが発射します。

射出口を確実に対象物に当てないとステープルが跳ねたり逸れたりし、また本機が反発して体（特に顔に注意）に当たり危険です。射出口を確実に対象物に当ててください。



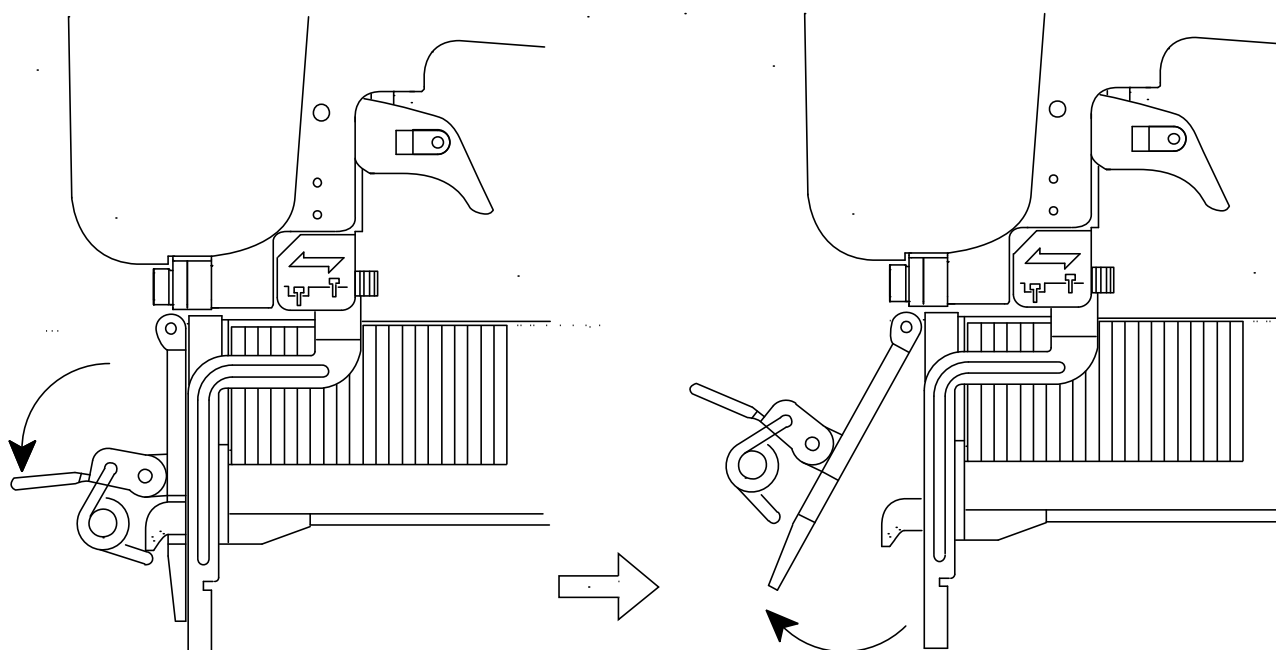
6) セーフティノーズの可動距離調整

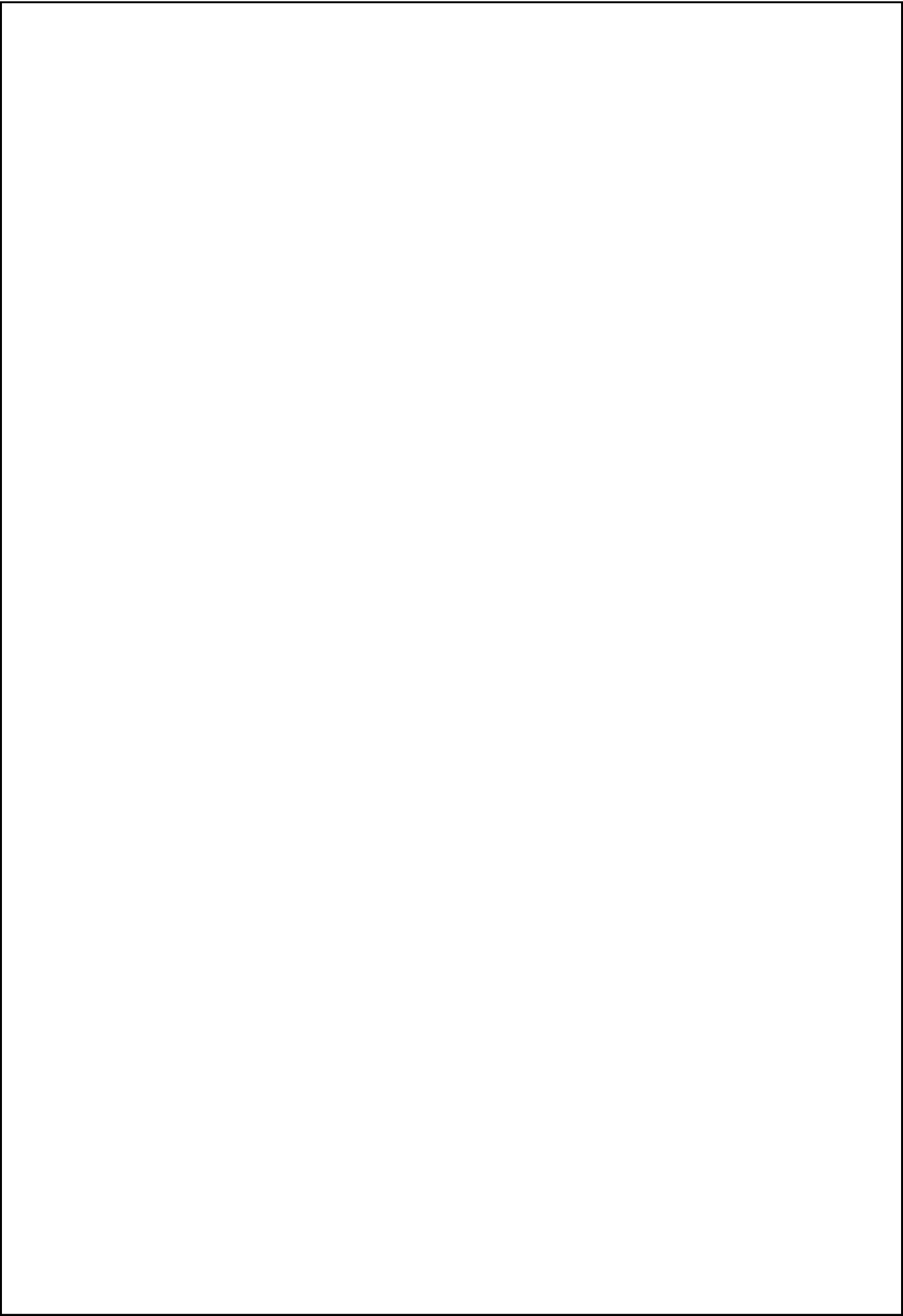
アジャスティングホイールを回して、セーフティノーズの可動距離を調整する事が出来ます。



7) ステープルが詰まったら

ステープルが詰まったら、下図の順に射出口ガイドを開き、詰まったステープルを外して下さい。誤ってステープルが発射されないよう、エアホースを外す、トリガーフリーにする、セーフティノーズを押さない、など、安全に注意してください。





● 保守

取り付けねじなど、嵌合が緩んでいる箇所が無い定期的に点検し、緩んでいる場合は締め直して下さい。マガジンをときどき掃除し、ステープル接着剤のカス、異物、木くずなどを取り除いて下さい。1日に2回以上または作業前後にエアプラグの口から2～3滴給油して下さい。長期間使用しない時は、注油、清掃し、湿気や埃の影響を受けない状態で保管して下さい。お子様や、作業員以外の方がさわらないよう、場合により施錠などの処置をしてください。

株式会社立川ピン製作所 拠点

本社 三重工場	〒518-1151 三重県伊賀市白檜3279-1 TEL 0595-20-1124（代） FAX 0595-20-1752
大阪営業所	〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋8-16 TEL 06-6942-1241（代） FAX 06-6947-1737
東京営業所	〒130-0012 東京都墨田区太平4-6-17 TEL 03-5608-2100（代） FAX 03-5608-2101
名古屋営業所	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山3丁目11番16号 松本ビル1階 TEL 052-684-4175 FAX 052-684-4176
福岡営業所	〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町10-15-101 TEL 092-433-2101（代） FAX 092-433-2102
ホームページ	https://tachikawa-net.jp